

公表 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室 オレンジ		公表日 : 令和8年3月2日			
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		5	0	教室の広さや設備を考え、十分なスペースがあると見える。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		5	0	利用人数に対して適切な人数を配置しています。	それぞれの職員の資格や経歴を活かしています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		5	0	子どもたちが安心して過ごせるように生活空間を分けています。	個々の特性や宿題などの状況に合わせた環境整備を行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		5	0	活動内容に合わせ、身体を動かす空間、静かに過ごす空間などに分けて環境作りをしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		5	0	必要に応じて個別で勉強できるスペースをつくっている。	個別スペースの利用状況を把握し適切にしようとしています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		5	0	目標設定から振り返りまで職員全体で共有しできるだけ関与していける体制を作っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		5	0	保護者からフィードバックを得るために評価表を設け意見や要望を収集している	招集したデータを分析し改善に反映させております。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		5	0	定期的に意見交換の場を設け職員の声を業務改善につなげていっています。	具体的な改善策に結びつくようフォローアップ体制をとっています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3	2	第三者委員会は行っておりません。	必要に応じて実施の検討をいたします。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		5	0	定期的な研修や勉強会を開催しスキルの上昇や専門性を高めていっています。	研修の内容や頻度を見直しニーズに合った学びをていこうします。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		5	0	アセスメントの結果をもとにし、ガイドラインに沿った適切な支援プログラムを作成して保護者と共有している。	引き続きより良い支援を提供できるように努めます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		5	0	子どもと保護者のニーズや課題を詳細に分析し個別のサービス計画書を作成している。	引き続きより良い支援を提供できるように努めます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		5	0	児童発達支援管理責任者中心に指導員間で意見を出し合ったのち計画書を作成している。	チーム内での情報共有や意見交換を活性化し、計画の質を高めます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		5	0	支援計画にのっとった支援ができるように指導員の研修やフィードバックを取り組んでいる。	引き続きより良い支援を提供できるように努めます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		5	0	日々の観察を組み合わせ、子どもの適応行動を多角的に把握している	評価方法の定期的な見直しと職員間での情報共有を通じて、支援の質を向上させていく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		5	0	「放課後等デイサービスの提供すべき支援」に基づき、子どもと家族のニーズに合わせた支援項目を設定しています。	計画策定時に関係者複数に参加して個別の支援内容を具体化する。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		5	0	指導員が中心となりプログラムを教室全体で作成している。	全職員で意見を出し合い行っています。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	同じプログラムばかりにならないように多種多様なプログラム作成を日々行っている	固定化しないよう月でプログラムを決め役割分担しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	子ども一人一人のニーズや状況に応じて個別との集団の活動をバランスよく組み合わせた支援計画を作成している	個別支援計画を作成する時には会議のもと全職員の意見を反映させた上で作成しております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	支援前に職員全員で打ち合わせをし、その日の活動内容や役割分担を明確にし、チームワークを強化している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	支援後に職員間で振り返りや保護者との会話内容を共有し、きついた点や改善点を共有することで支援の質を継続的に向上させている	一日ごとにそれぞれの児童で記録をつけ、共有するようにしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	各支援ごとに記録を残し、子どもたちの状況や支援の効果を把握している	日々の支援の記録をつけ、全職員で見返せるようにしています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	保護者との定期的なモニタリングをおこない子どもたちの成長や変化に応じて指導計画の見直しを行っている。	6カ月に1度以上は必ず面談しモニタリングの時間を設けています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	放課後等デイサービスガイドラインに基づき、基本的活動を効果的に組み合わせ、バランスの取れた支援を提供している	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	子どもたちが自分で選択し決定する場面を設けることで自己決定力や責任感を育てている。	集団活動を行う中で自己決定をする力を育む活動も取り入れています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	児童発達支援管理責任者が参加しており、他にも子どもの状況を把握している職員し、情報共有と連携を深めている。	担当の職員が他の職員の意見をまとめて会議に参加するようにしています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	地域の保健、福祉、教育機関と連携、共有し子どもたちへの支援を総合的かつ効果的に取り組んでいる。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	学校との間で年間行事や行事予定を保護者を通して共有し、送迎トラブルが起きないように取り組んでいる。	送迎時だけでなく定期的に面談時間を設けて情報共有を行っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	保護者の要望に合わせて定期的な会議や連絡帳を通じて、子どもの発達状況や支援内容を共有し、関係者間での情報交換を行っている	送迎時だけでなく定期的に面談時間を設けて情報共有を行っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	現段階では障害福祉サービス事業所へ移行した利用者がいないためおこなっていない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	機会が今のところないが必要に応じておこなう。	必要に応じて今後検討していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	フットサル施設にて子どもたちが地域の方々との交流の場を提供している。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0	現在は参加していない。	今後参加できるように取り組んでいく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	定期的な面談に加え連絡帳やフィードバックにて子どもの発達状況に関する情報共有をしている。	対面以外でも電話やスマートフォンの連絡帳アプリを活用し相談に応じています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	家庭内の状況の聞き取りや相談へのアドバイス等個別に対応している。	送迎時やモニタリングの時にご家庭での悩み、相談がないか伺っています。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時や変更があった際に随時保護者に説明を行っている	引き続き契約時に丁寧な説明を行っていきます。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	個別面談やアセスメントを通じて、子どもや保護者の意向やニーズを確認している。		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	具体的な支援内容や計画を文章化し、保護者と共有している。面談をおこない計画内容の説明をして、同意を得ている。		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	モニタリングのほかにも連絡ツールや電話で相談事に対してすぐ対応できる窓口を用意している。	対面以外でも電話やスマートフォンの連絡帳アプリを活用し相談に応じています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	0	ニーズが少ないため実施機会を今のところ設けていない。	聞き取りを行い必要に応じて実施の検討をいたします。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	苦情対応の窓口を設置しており、迅速な対応を行っている。	苦情があればマニュアルをもとに迅速に対応いたします。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	定期的なお便りやSNSを活用し活動内容や連絡体制の情報発信を行っている。	活動や行事の様子をブログで発信しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	適切な個人情報の取り扱い方について職員間で共有している。	個人情報が記載された書類は鍵付きロッカーで保管しております。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	障がいに応じたコミュニケーション方法を用いている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0	現在は行っていないが、今後取り組む検討をしている。	聞き取りを行い必要に応じて実施の検討をいたします。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	各マニュアルを策定後職員や保護者との共有を行い、定期的に研修・訓練を行っている。	契約時にマニュアルを伝えるとともに変更があれば保護者の方に周知しています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	BCPを策定し非常災害に備えた訓練を定期的に行っている。	引き続き災害に備えた訓練を定期的に行ってまいります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	契約時に詳細を確認し適切な対応に努めている。	アセスメントシートを基に適切に保護者の方に確認しております。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	食物アレルギーの対応については医師の指示に基づき保護者へ確認したうえで適切な対策を講じている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全管理のための研修や訓練を実施しており、日々安全な環境で支援を行っている。	安全のための環境整備をミーティングの中に入れ検討していきます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	安全計画や取り組み内容について、保護者への周知を行っている。職員間でも研修やミーティングを通して周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	該当する出来事が起きた際は速やかに職員間で共有し対策案を職員で再発防止案を検討している。	過去に起きた事例を基に再発防止を検討していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	定期的に虐待防止研修を実施しており、職員間での意識の向上を図っている。	定期的な研修を行ってまいります。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	身体拘束の研修を通して職員間での身体拘束への共通認識を持都ように取り組んでいる。保護者への説明は個別面談を通じて教室の身体拘束の方針を説明している。	今後必要な場合には十分に検討し丁寧に説明し身体拘束の適正化に努めます。	